

2022年9月26日

各位

日本特殊陶業株式会社

日本特殊陶業 CVC ファンドから 米国ミシガン州・ヘルスケアスタートアップ企業  
NOTA Laboratories 社への出資のお知らせ  
～ 一酸化窒素 (NO) を簡便で低廉にオンデマンド生成することで様々な呼吸器疾患や炎症性疾患の治療に貢献 ～

日本特殊陶業株式会社（社長：川合 尊、本社：名古屋市東区、以下、当社）は、ペガサス・テック・ベンチャーズと共同で運営する CVC ファンド※1を通じて、一酸化窒素 (NO) 吸入療法用製品の開発を手掛けるスタートアップ企業 NOTA Laboratories 社（本社：米国 ミシガン州、以下、NOTA Labs 社）へ出資いたしました。

NOTA Labs 社は、急性・慢性の呼吸器疾患および炎症性疾患を治療するため、独自の一酸化窒素送達システムを使った新しいヘルスケア製品を開発しています。独自特許を使った同社の製品は、オンデマンドで一酸化窒素を生成することが可能であり、高濃度の一酸化窒素と長期間の治療が必要な病院環境にとっての理想的なソリューションとして早期実用化が期待されています。

当社は、「2030 長期経営計画 日特 BX」において非内燃機関事業の比率を高める"事業ポートフォリオの転換"を掲げ、その実現のための施策の一つとして、「Smart Health」「Decentralized Utilities」「Smart Mobility」を注力領域とした新規事業創出に取り組んでいます。

その「Smart Health」の領域では、NOTA Labs 社と共同開発契約を締結し、同社の技術と当社の酸素濃縮装置の技術を組み合わせた、病院および在宅医療向けの呼吸器疾患用ヘルスケア製品の開発を進めています。

当社は、今後も世界各国の最先端の技術を持つ企業への出資や提携を行うことで新規事業創出を推進し、新たな価値の創造に向けた取り組みを進めてまいります。

※1 [CVC ファンド設立のお知らせ \(2021年3月29日\)](#)

■NOTA Labs 社の2つの技術プラットフォーム

NOTA Labs 社の開発する病院向けの NOGEN™システムは、電気化学反応を利用してオンデマンドで NO を生成し、消耗品を交換することなく、病院内で数ヶ月間稼働させることが可能です。新生児遷延性肺高血圧症（PPHN）を最初の対象としていますが、開心術や気管支炎などの幅広い呼吸器疾患での利用が期待されています。

NOTA Labs 社の第2のプラットフォーム技術は LANOR と呼ばれ、光活性化反応を用いてフィルム上で NO を発生させます。将来、慢性閉塞性肺疾患向けなど、NO を家庭や救急医療に応用するのに適しています。



製品イメージ (NOGEN)

■NOTA Labs 社の概要

正式名称	NOTA Laboratories
所在地	600 South Wagner Road Suite 6 Ann Arbor, MI 48103, United States
設立年	2014年
経営体制	CEO : Malcolm Kahn
事業内容	一酸化窒素 (NO) を用いた呼吸器疾患用ヘルスケア製品の開発
Web サイト	<a href="https://www.notalabs.com/">https://www.notalabs.com/</a>